

FXサインツール クワトロアルファ

鉄板パターン15選

FX サインツール「クワトロアルファ」鉄板パターン 15 選

鉄板パターンとは。

- 1 サブウィンドウの2本のクワトロアルファバーの色が揃う
- 2 QQE-MA の水色ラインが白色の水平線（50ライン）を抜ける。
- 3 3本のBBストップラインが上か下かですべてそろろう。

この3つの条件がほぼ同時に揃った時が勝率の高い「鉄板パターン」です。

つぎにあげる15の事例は以上の点に注目しながら、この鉄板パターンの形を体にしみこませてください。

そしてこの鉄板パターンは5分足でしたら、一つの通貨につき、一日に1～2回はほぼ毎日あります。

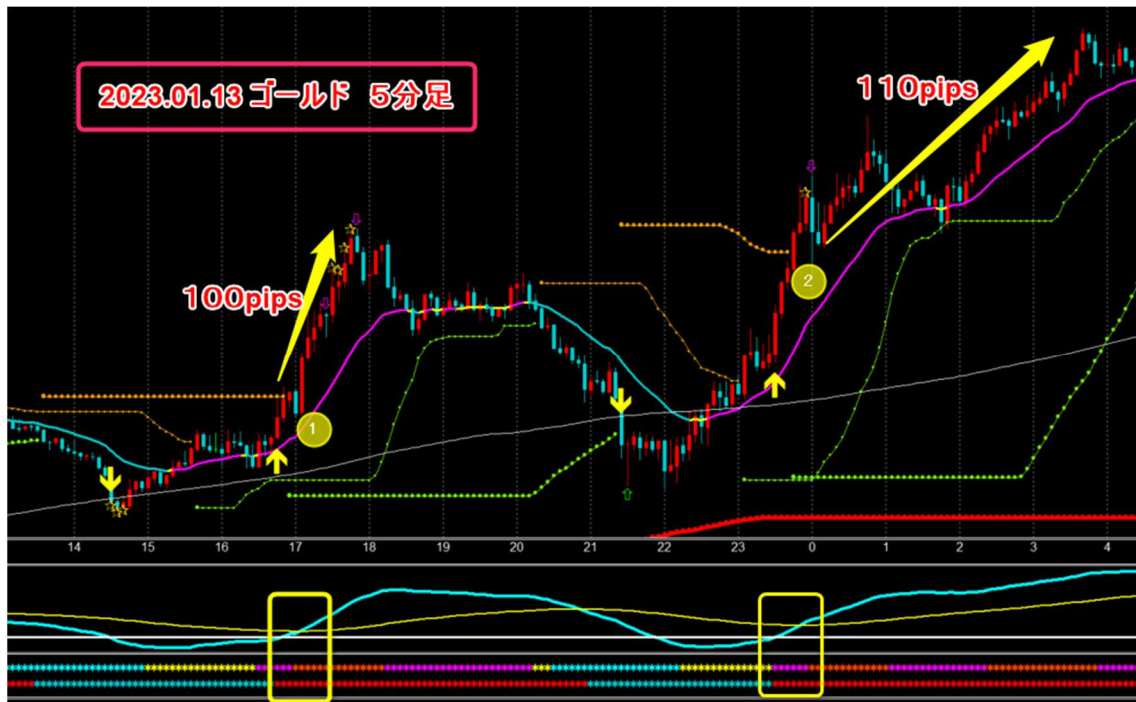
その勝率の高いときがくるまで、待ってください。

鉄板パターンといえるようなチャンスが来るまで待つことと、もし逆行した場合に損切を素早くすることができれば、FXで資金を増やしていくことはそんなに難しいことではありません。

ぜひ、あなたも勝ち組に入って、ともに資産を築きましょう。

※すべて5分足チャートでの説明になっています。もっと長い時間足をふだんご利用の方はご自身の時間足に置き換えてご覧ください。

(1) まずは完璧な鉄板パターンから



このチャートでは、まず①で3つの条件が同時にそろいました。

- 1 サブウィンドウの2本のクワトロアルファバーの色がそろう。
- 2 QQE ライン（水色）が、白い水平線（50ライン）を下から上に抜け、直後に黄色い平均線とのゴールデンクロスが見られる。
- 3 メインウィンドウでは、15分足のBBストップをレートが抜け、上でフタをするBBストップがなくなった。

以上の条件を満たしたときが鉄板パターンです。

この①は文句なしの鉄板パターンですね。

トレードにあたっては、まず1時間足のBBストップは画面の下にあって見えないくらいですから、この日はロングしか狙いません。

チャートでは午後9時過ぎに下向きサインが出ていますが、これは無視です。
この下げは次に上昇していくための準備です。

いったんしゃがまないとジャンプできないようなものです。

そして午前0時ごろの矢印サイン②ですが、ここでは前回高値を抜けてきていて、QQE-MAも白色の水平線（50ライン）を下から上に抜けています。

かつ、ここでも15分足のBBストップを最後に抜けています。

これも完全な鉄板パターンです。

私はもちろん2回ともおいしくいただきました。

(2) QQE-MA がデッドクロス



このチャートでは、サイン通りにエントリーして2勝。最大120 pips 程度取れています。

まずは1時間足の BB ストップが、この画像では見えないくらい上にあるのでこの日はショートしか狙いません。

そして、サブウィンドウの2本のクワトロアルファバーの色がそろったタイミングが画像の①～③のように3回あります。

このうち①と③でエントリーです。

②はエントリーしません。

なぜなら5分足の BB ストップが下で支えているからです。

①と③は支える BB ストップがありません。

サブウィンドウの QQE-MA を見ても、①と③は下落しているのに

②だけは上昇しています。

そんなことから②ではエントリーできず、①と③だけでエントリーということになります。

一番いいのは、黄色の線と水色の線のデッドクロスではなくて、白い水平線（50のライン）を上から下に抜ける 때가「鉄板パターン」として勝率が高いのですが、その次がこのデッドクロスです。

この日はドル円だけで100 pips 以上、最大120 pips くらいとれたということになります。

(3) 水平線を抜けたら再度エントリー



午後3時半ごろの矢印サイン②からエントリーできれば楽勝&大勝ですね。

矢印サイン①でのエントリーでも小さな含み損を1時間くらい抱えることにはなりますが、これくらいだったら逆行を恐れることもないでしょうから、1時間だけ耐えれば大勝ちできるはずです。

ただ、サブウィンドウのQQE-MAを見てください。

① のあたりでは水色の線が黄色戦の下にあって、「上から下へ」つきぬけていないのです。

その点②では上から下へ突き抜けて、いわゆるデッドクロスになっています。

ただ、実際にホールドしていたら、午後6時ごろの上昇では、不安に感じて手放したくなるでしょうね。

それもありだと思います。

いったん手放したとしても、午後5時ごろの安値に水平線を引いておいて、そこを下に抜けたら再度エントリーということでもいいと思います。

チャート画像では水平線を引いていないのでわかりにくいかもしれませんが、再度エントリーする場合は、午後6時20分くらいになります。

(4) 再度鉄板エントリー



矢印サイン①でのエントリーは鉄板ですね。

ここでもう一度鉄板パターンを確認しますが、

- 1 サブウィンドウの2本のクワトロアルファバーの色が揃い
- 2 QQE-MA の水色ラインがゴールデンクロスと同時に白色の水平線（50ライン）を下から上に抜ける。

3 BB ストップの方向が3本ともそろう。

この3点が揃った時が「鉄板パターン」です。

もちろん、「同時に」そろうのではなくて、ろうそく足、5～6本くらいずれて揃うこともあります、それも「鉄板パターン」としてもいいと思います。

このチャート画像では矢印サイン②でも、いろんな条件がそろっているのに、エントリーしてもよさそうですが、ただし、この場合は「前回高値」まで20 pips 程度しかありません。

スプレッドを差し引くと10数 pips ということになり、それをとりに行くために危険を冒す必要はないとおもいます。

これでロングエントリーするのだったら上の方に引いている白い前回高値ラインをぬけてからとなります。

この画像ではるか上にあってぬけそうにないので、ロングエントリーはしないということになります。

(5) 超簡単、楽勝パターン



これは超簡単、楽勝パターンです。

「みんな入ったよね」「みんな、とったよね」という感じで、それ以外は何もいうことがないくらいです。

まさに鉄板の鉄板、超分厚い鉄板です。

ときどき FX の神様はこんな素敵なプレゼントをくださるのです。

(6) 大きく動くにはそれまでパワーをため込む必要あり



矢印サイン①では、3つの矢印サインが出ていますが、右の2つは下に5分足のBBストップあるので、エントリーできません。

一番左の矢印サインでは、QQE-MAがデッドクロスしていないのです。もちろんここから下がることもあるのでエントリーしてもいいのですが、ただ、矢印サイン②とちがって、QQE-MAが上から下に抜ける動きにはなっていないということには注意しておきたいところです。

矢印サイン②のところのように下げていくにはそれまでにパワーをため込んで、QQE-MAがわずかでも上から下に抜けたほうがよりエネルギーは放出されます。

(7) パワー充電から放出は QQE-MA で確認



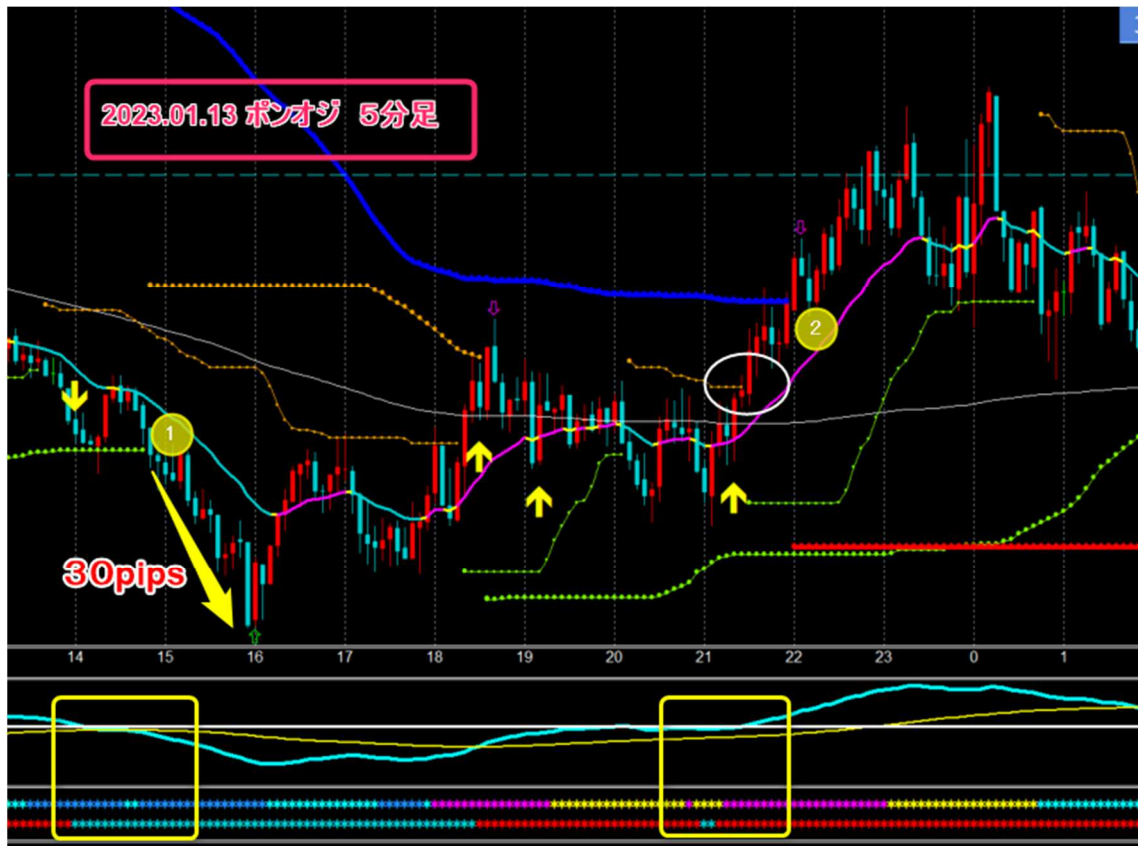
ジェットコースターと同じで、レートが急降下するためには、それまでに「カタカタカタカタ・・・」とゆっくりと上昇してエネルギーをため込んでいないといけません。

そのことが QQE-MA を見ればわかります。

これは二つとも、QQE-MA が白色の水平線(50ライン)をぬけたわけではないのですが、どちらもデッドクロスはしていますよね。

そこから急降下です。

(8) 1時間足が最後にそろったときは要注意



まず矢印サイン①は文句なしの鉄板パターン。

ただ、時間が午後3時前と早いので大相場にはなりにくかったという感じですね。

30 pips の下落で終わっています。

矢印サイン②では3本のBBストップのうち、1時間足のBBストップが最後に上下入れ替わっています。

ふつうは1時間足のような長い時間足の方向に、5分足などの短い時間足がそろったときがチャンスです。

この②のように1時間足が最後にそろって、そこから伸びることももちろんありますが、ここで目いっぱいとなることも多いのでここでのエントリーはお勧めしていません。

(9) 前回安値（高値）ラインを抜けてからエントリー



矢印サイン①は文句なしの鉄板パターン。

矢印サイン②は要注意です。

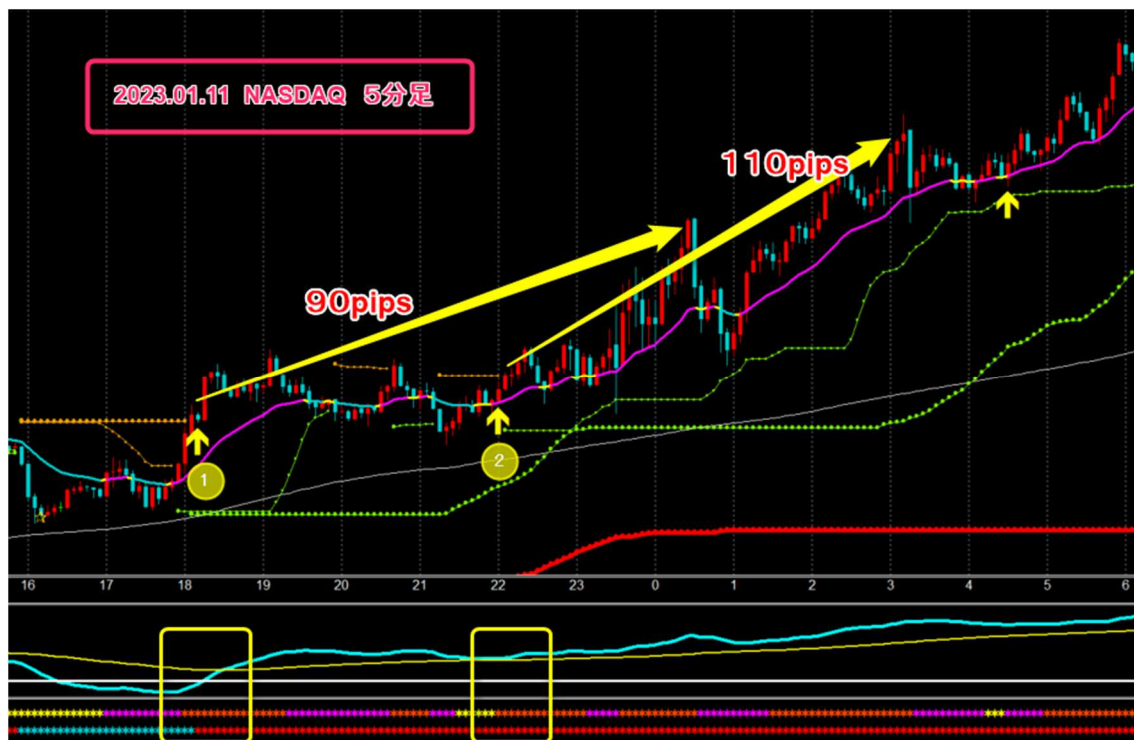
その理由は

- 1 前回安値ラインを抜けていない。
- 2 QQE-MA がまだデッドクロスしていない。

この2点です。

そこで矢印サイン③ですが、前回安値をぬけ、QQE-MA もデッドクロスしました。
ここがチャンスです！

(10) NASDAQ で大勝を狙うことも



FX サインツール「クワトロアルファ」はドル円などの通貨ペアに有効だけでなく、ゴールドでも有効だということは(1)をご覧いただけるとわかると思いますが、この(10)ではNASDAQを取り上げます。

NASDAQ、ダウ、日経225などの株価指数でもこのサインツールは有効ですが、原油などの商品・コモディティは検証したことがありません。

ダウは値動きが粗く、損切ラインを浅くしているとすぐに切られてしまうので私はあまりお勧めしません。

その点NASDAQのほうが値動きが(ダウに比べてですが)おとなしく、エントリーしやすいと思います。

ただし、大きく動くのはNY時間がちかづいてからなので、上のチャートでは矢印サイン②からは入れば大勝ですね。

まず①は鉄板パターンではありますが、まだQQEが、50ラインの下にあります。

午前11時という時間帯を考えてもちょっと疑わしいところがありますが、その他のすべての条件が整っているのだから、エントリーするかしないかのどちらかということと「する」となると思います。

RSI はふつう「70で買われ過ぎ」と言われますが、ご存じのように70だと、高値で張りつくことがあります。

そして調整がおわって再上昇を始めたのが②です。
ちょうどこのとき、QQEが50ラインを抜けました。

この②はわかりやすいチャンスですね。

50 pips くらい伸びています。

そして③ですが、ここは私が「勝率50%」としているところです。

やはり①や②の初動にくらべると勝率は落ちます。

④は上に5分足のBBストップがふたをしているので、エントリーはできません。

そしてそれを抜けたのが⑤です。

この⑤のタイミングでは、微妙ですがQQE-MAもゴールデンクロスしています。

鉄板パターンなのでここは絶対にエントリーすべきです。

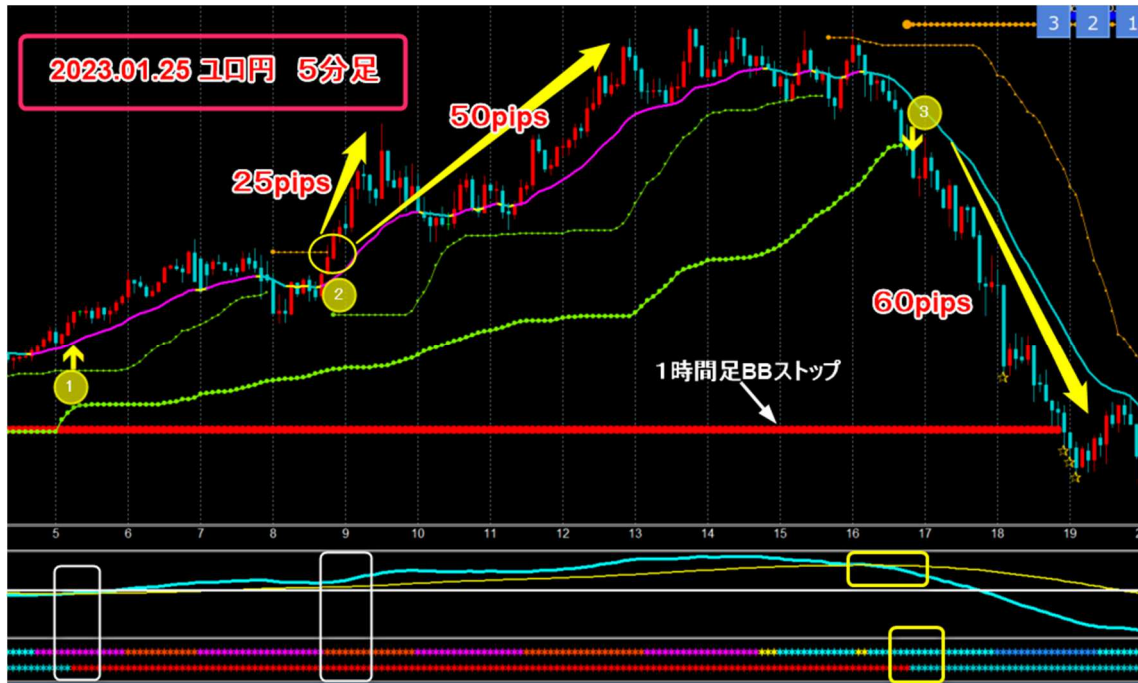
最初の一伸びで45 pips 伸びていますね。

21:30 ごろのろうそく足の上にも、黄色い小さな星印が見えます。

これがRSI80です。

ここでも、ここを高値として調整していますね。

(12) 鉄板パターンではないが。



このチャート画像には①から③の印をつけました。

① は鉄板パターンですが、午前5時ですからスルーです。

② では、サブウィンドウの2つのインジケーターは条件がすでにそろっています。あとはBB ストップ待ちだったところ、②で5分足の BB ストップを抜けました。このようなとき、矢印サインはでませんが、これもエントリーポイントの一つです。

直後に25pips 急騰していますが、急騰した場合の上昇は長続きしません。利確しそこなった場合は、建値近辺までもどっていますね。

伸びたところでしっかり利確しておいたほうがいいとは思いますが、そうはいつでも利確チャンスを逃すということはよくあることです。

これはぎりぎりホールドできる動きでしょうか？

もしホールドしていたら結果オーライで50pips くらい伸びることとなります。

一度、利確した場合の2回目のエントリーについては画像に印をつけていませんが、一度2

0 MA を割った後に、またもどってきて、MA の上で安定的に動くようになってからか、あるいは午前9時半くらいの高値を抜けてからということになるでしょうね。

そして最後に③ですが、これは「鉄板パターン」ではありません。

「3本のBBストップの方向がそろう」という条件を満たしていません。

しかし、私はこのときにエントリーする場合があります。

利確目標は下に控える1時間足BBストップまでです。

(13) あれこれ難しいケース



FXの指南書なんかをみると、グランビルの法則とか、ダウ理論だとかを図式化して説明しています。

まれに「実際のチャートを見てみましょう」なんていっても、説明に都合のいいチャートだけを取りあげて説明をしています。

しかし相場は生き物であって、実際には、そんなに図で示されているようなきれいな形状にはなりません。(とくに短期足は。)

伸びると思っても伸びなかったり、エントリーしなかったときに限って大きく伸びたりするものです。

さて、上の画像ではどうでしょう

まず①ではろうそく足のすぐ上で5分足の BB ストップがフタをしているのでこれは論外です。

まれに「きっと抜けるだろう」という願望の強い予想で早めにエントリーしてしまう人がいます。

私もその一人ですが、たいていの場合、痛い目にあいます。

抜けてからでも遅くはありません。

次に②ですが、2本のクワトロアルファバーの色がそろい、BB ストップも抜けたのですが、残念ながら QQE-MA がクロスをしていません。

これもエントリーを見送るべきですが、エントリーしてしまった場合は、逃げ場がしですね。

マイナスにならなかったら OK です。

次の③も②と同じです。

そういうふうに見ると、この QQE-MA ってよくできているでしょ？

その次の④では、2本のクワトロアルファバーの色がそろったために、黄色い矢印サインが出ていますが、すぐ下に BB ストップがあるので、これもノーエントリーです。

エントリーするとしたら、5分足 BB ストップ→15分足 BB ストップとぬけたきた⑤ですね。

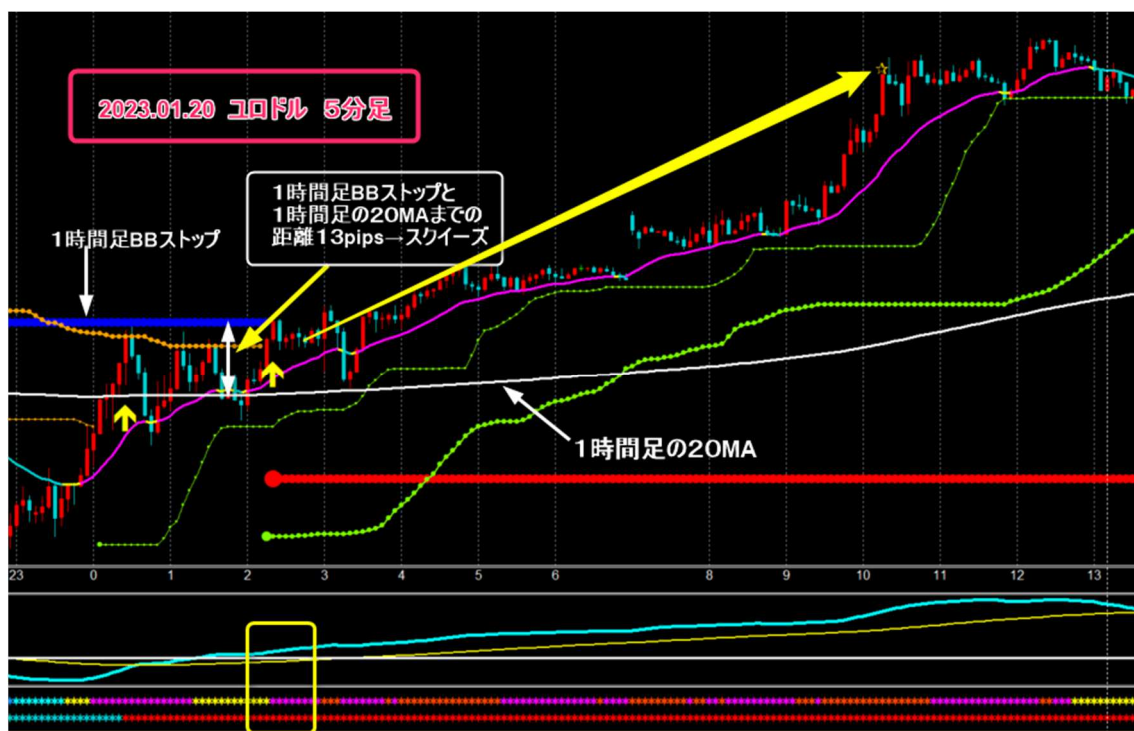
これはまだ1時間足 BB ストップが下に控えているので、「3本の BB ストップの方向がそろう」という鉄板パターンにはなっていません。

したがって勝率は下がりますが、1時間足 BB ストップまでねらってエントリーするのもありです。

最後の⑥は1時間足 BB ストップがすぐそこに控えているのでノーエントリーです。

やはりこのチャートでも、1時間足 BB ストップあたりでレートは止まっていますよね。

(14) 変形鉄板パターン



「変形鉄板パターン」と書きましたが、「応用鉄板パターン」といってもいいかもしれません。

午前2時のエントリーチャンスですから、実際にはここでエントリーした人は少ないと思いますが、サブウィンドウのインジケーターはロングエントリーを示唆しています。

そしてメインウィンドウですが、「1時間足の BB ストップを最後に抜ける」というのはエントリーしないというのがルールです。

なぜなら、これまでいくつか見てきたように、ここで止まることが多いから。

しかし、私はここでエントリーします。

なぜなら、1時間足の BB ストップと1時間足の MA20 までの距離が13 pips しかないからです。

1時間足の BB ストップは、ボリンジャーバンドの $+2\sigma$ です。

そして1時間足の MA20 はボリンジャーバンドのミドルラインです。

この幅が13 pips しかないということは、ボリンジャーバンドがスクイーズ（収縮）しているのです。

スクイーズ（収縮）していたら、そこからあとはエクспанション（拡散）するはずです。

そんなわけで私だったらここはエントリータイミングと見ます。

この場合は13 pips と極端に狭いので、エントリーも成功する確率が高いと思いますが、多くの場合30 pips くらいで「収縮している」とみてエントリーしても勝率は悪いと思います。

その原因は、見ている時間感覚がちがっているからです。

1時間足のボリンジャーバンドが収縮しているのだから、あと2～3時間収縮していくかもしれません。

それを私は5分足の感覚で見ているため、こらえきれずに損切になることが多いように覆います。

(15) 指標後は値動きを見定めて



最後は指標発表後のチャートです。

指標発表はそれまでのチャート形状などぶっ壊してしまうほどの影響がありますが、指標後はじっくり値動きをみて、動き方が落ち着いてからエントリーを考えましょう。

初動で大きく動いた後に、いっきに逆行することもありますから、そんなときのために、損切ラインをしっかりと設定しておいてください。

この「鉄板パターン15選」は以上ですが、これらの形状をしっかり頭に叩き込んでください。

そして楽しくFXで資産を増やしていきましょう。